

# 食事形態一覧表（学会分類2013）

## ●はじめに

この一覧表は神戸市北区八多淡河、道場地域の医療・介護・福祉施設13施設の栄養士が作成しました。平成30年度の診療報酬改定では、栄養情報の提供にあたり、各機関ともに日本摂食嚥下リハビリテーション学会の学会分類コードの記載が必要になりました。このコードが共通言語となることを受け、医療・介護・福祉関係者が互いに施設の食事情報を共有できることを目的としています。各施設で適切な食事が提供されるとともに、自宅に戻っても安全に食事ができるように、今後は当地域外の施設にも登録していただくよう働きかけるとともに、活用していただきたいと思います。

## ●表の見方

- ・コード別に各施設での呼称が記載されています
- ・コード別の食事形態は別紙「学会分類2013（早見表）」と照らし合せてください
- ・同じコードや呼称でも施設間での差異がありますので、嚥下機能に問題のある方については各施設へお問い合わせください
- ・問い合わせ先の電話番号は、特に記載のない場合は施設の代表番号です



食事形態一覧表（学会分類2013）

（2019.1月作成）

（最新更新日：2019/1/17）

施設名 問い合わせ先	学会 分類	コード0j	コード0t	コード1j	コード2-1	コード2-2	コード3	コード4	水分とろみ		
									段階1	段階2	段階3
介護老人保健施設 青い空の郷 Tel986-3711	主食			ゼリー食	ブレンダー	ブレンダー・ソフト粥	全粥・ソフト粥	全粥・米飯	うすトロミ	ふつうトロミ	こいとろミ
	副食					ブレンダー	ソフト食	軟菜			
介護老人保健施設 うらら 栄養科:森谷/Tel950-5177	主食			全粥ミキサー		全粥ミキサー	全粥とろみ・パン粥	全粥・米飯	とんかつソース状 (ピュール・ソフト)	ヨーグルト状 (黄色ソフト)	
	副食			ミキサー食		キザミ食	一口大カット・軟菜食				
介護老人保健施設 らぼーと Tel950-7070	主食			粥ミキサー				全粥・米飯	薄い	中間	濃い
	副食			ミキサー食		極刻み食(あんかけ)	極刻み食・刻み食				
特別養護老人ホーム 愛寿園 Tel986-1612	主食			粥ミキサー			粥ゼリー・パン粥	軟飯・全粥	(現場で個別対応)		
	副食			ミキサー		刻み・小刻み	一口大				
特別養護老人ホーム 八多の里 Tel951-1130	主食			ゼリー食	ミキサー食		パン粥	全粥・軟飯	薄い	中間	濃い
	副食			ゼリー食	ミキサー食		ソフト食・極キザミ食				
小規模特別養護老人ホーム ほわいえ Tel951-1130(八多の里)	主食			ゼリー食	ミキサー食		パン粥	全粥・軟飯	薄い	中間	濃い
	副食			ゼリー食	ミキサー食		ソフト食・極キザミ食				
特別養護老人ホーム やすらぎの里 神戸赤松台 管理栄養士:別所/Tel986-8228	主食			ミキサー・ソフト粥 (ミキサーゼリー粥)		パン粥		全粥・軟飯	薄いとろみ	中間のとろみ	
	副食				ペースト食・ソフト食		刻み食				
特別養護老人ホーム やすらぎの里 道場 Tel985-1165	主食				パン粥ミキサー	スベラカーゼ粥 パン粥		全粥・ミキサー粥	薄いとろみ	中間のとろみ	
	副食				ペースト食 ソフト食		刻み食				
障害者支援施設 ヨゼフ寮 Tel958-0109	主食	}	通常提供はないが、 個別に相談可	ゼリー食	ミキサー食		パン粥		(個別に相談可)		
	副食			ゼリー食	ミキサー食		ソフト食				
上野丘更生寮 Tel958-0252	主食										
	副食										
有馬高原病院 栄養科:Tel986-1585(直通)	主食			ゼリー食	ブレンダー	ブレンダー	ソフト粥	全粥・米飯	(個別に対応)		
	副食					ブレンダー	ソフト食	軟菜			
恒生病院 管理栄養士:前中/Tel950-2622	主食			ソフト粥	ピュール粥	スベラカーゼ粥	全粥(重湯なし)	全粥・軟飯	薄い	中間	濃い
	副食	アガロリーゼリー		ゼリー・ヨーグルト	ピュール食・ソフト食	ピュール食・ソフト食	キザミ食(口付)	キザミ・一口大			
神戸ほくと病院 Tel583-1771	主食	お茶ゼリー	汁とろみ	ゼリー・プリン	ゼリー粥	つぶ粥ゼリー		全粥・軟飯	薄いとろみ	中間のとろみ	濃いとろみ
	副食			ヨーグルト	ミキサー食・ムス食	極キザミ食(とろみつき)	キザミ食(とろみつき)	キザミ食・一口大			
	主食										
	副食										

学会分類2013(食事)早見表

※本表を使用するにあたっては、日本摂食嚥下リハ学会HPホームページ: [http://www.jsdr.or.jp/doc/doc\\_manual1.html](http://www.jsdr.or.jp/doc/doc_manual1.html) 『嚥下調整食学会分類2013』を必ずご参照ください。

コード I-8項	名称	形態	目的・特色	主食の例	必要な咀嚼能力 【I-10項】	他の分類との対応 【I-7項】
0	j 嚥下調整食品0j	均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したゼリー 離水が少なく、スライス状にすくうことが可能なもの	重度の症例に対する評価・訓練用少量をすくってそのまま丸呑み可能 残留した場合にも吸引が容易たんぱく質含有量が少ない		(若干の送り込み能力)	嚥下食ピラミッドL0 えん下困難者用食品許可基準 I
	t 嚥下調整食品0t	均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したとろみ水(原則的には、中間のとろみあるいは濃いとろみ*のどちらかが適している)	重度の症例に対する評価・訓練用少量ずつ飲むことを想定 ゼリー丸呑みで誤嚥したりゼリーが口中で溶けてしまう場合 たんぱく質含有量が少ない		(若干の送り込み能力)	嚥下食ピラミッドL3の一部 (とろみ水)
1	j 嚥下調整食1j	均質で、付着性・凝集性、かたさ、離水に配慮したゼリー・プリン・ムース状のもの	口腔外で既に適切な食塊状となっている(少量をすくってそのまま丸呑み可能) 送り込む際に多少意識して口蓋に舌を押しつける必要がある 0jに比し表面のざらつきあり	おもゆゼリー、ミキサー粥のゼリー など	(若干の食塊保持と送り込み能力)	嚥下食ピラミッドL1・L2 えん下困難者用食品許可基準 II UDF区分4(ゼリー状) (UDF:ユニバーサルデザインフード)
2	1 嚥下調整食2-1	ピューレ・ペースト・ミキサー食など、均質でなめらかで、べたつかず、まとまりやすいもの スプーンですくって食べることが可能なもの	口腔内の簡単な操作で食塊状となるもの(咽頭では残留、誤嚥をしにくいように配慮したもの)	粒がなく、付着性の低いペースト状のおもゆや粥	(下顎と舌の運動による食塊形成能力および食塊保持能力)	嚥下食ピラミッドL3 えん下困難者用食品許可基準 II・III UDF区分4
	2 嚥下調整食2-2	ピューレ・ペースト・ミキサー食などで、べたつかず、まとまりやすいもので不均質なものを含む スプーンですくって食べることが可能なもの		やや不均質(粒がある)でもやわらかく、離水もなく付着性も低い粥類	(下顎と舌の運動による食塊形成能力および食塊保持能力)	嚥下食ピラミッドL3 えん下困難者用食品許可基準 II・III UDF区分4
3	嚥下調整食3	形はあるが、押しつぶしが容易、食塊形成や移送が容易、咽頭でばらけず嚥下しやすいように配慮されたもの 多量の離水がない	舌と口蓋間で押しつぶしが可能なもの押しつぶしや送り込みの口腔操作を要し(あるいはこれらの機能を賦活し)、かつ誤嚥のリスク軽減に配慮がなされているもの	離水に配慮した粥など	舌と口蓋間の押しつぶし能力以上	嚥下食ピラミッドL4 高齢者ソフト食 UDF区分3
4	嚥下調整食4	かたさ・ばらけやすさ・貼りつきやすさなどのないもの 箸やスプーンで切れるやわらかさ	誤嚥と窒息のリスクを配慮して素材と調理方法を選んだもの 歯がなくても対応可能だが、上下の歯槽提間で押しつぶすあるいはすりつぶすことが必要で舌と口蓋間で押しつぶすことは困難	軟飯・全粥 など	上下の歯槽提間の押しつぶし能力以上	嚥下食ピラミッドL4 高齢者ソフト食 UDF区分2およびUDF区分1の一部

学会分類2013(とろみ)早見表

	段階 1	段階 2	段階 3
	薄いとろみ 【III-3項】	中間のとろみ 【III-2項】	濃いとろみ 【III-4項】
英語表記	Mildly thick	Moderately thick	Extremely thick
性状の説明 (飲んだとき)	「drink」という表現が適切なとろみの程度 口に入れると口腔内に広がる液体の種類・味や温度によっては、とろみが付いていることがあまり気にならない場合もある 飲み込む際に大きな力を要しない ストローで容易に吸うことができる	明らかにとろみがあることを感じ、かつ「drink」という表現が適切なとろみの程度 口腔内での動態はゆっくりですがすぐには広がらない 舌の上でまとめやすい ストローで吸うのは抵抗がある	明らかにとろみが付いていて、まとまりがよい送り込むのに力が必要スプーンで「eat」という表現が適切なとろみの程度ストローで吸うことは困難
性状の説明 (見たとき)	スプーンを傾けるとずっと流れ落ちる フォークの歯の間から素早く流れ落ちる カップを傾け、流れ出た後にははうすらと跡が残る程度の付着	スプーンを傾けるととろとろと流れる フォークの歯の間からゆっくりと流れ落ちる カップを傾け、流れ出た後には全体にコーティングしたように付着	スプーンを傾けても、形状がある程度保たれ、流れにくい フォークの歯の間から流れ出ない カップを傾けても流れ出ない(ゆっくりと塊となって落ちる)
粘度 (mPa・s) 【III-5項】	50—150	150—300	300—500
LST 値 (mm) 【III-6項】	36—43	32—36	30—32

# 学会分類2013と他分類の対応

学会分類2013		他分類			
学会分類2013	嚥下食 ピラミッド	特別用途食品	UDF	スマイルケア食	
0j 嚥下訓練食品 0j	L0 (開始食)	許可基準 I	—	0	
1j 嚥下調整食 1j	L3の一部 (とろみ水)	—	—	0	
1j 嚥下調整食 1j	L1・L2 (嚥下食Ⅰ・Ⅱ)	許可基準 II	かまなくてよい	1	
2-1 嚥下調整食 2-1	L3 (嚥下食Ⅲ)	許可基準 II 許可基準 III	かまなくてよい	2	
2-2 嚥下調整食 2-2	L3 (嚥下食Ⅲ)	許可基準 II 許可基準 III	かまなくてよい	2	
3 嚥下調整食 3	L4 (移行食)	—	舌でつぶせる	3	
4 嚥下調整食 4	L4 (移行食)	—	歯くきでつぶせる 容易にかめる (一部)	4 —	

形態、特色などの詳細は「嚥下調整食分類2013」の本文及び学会分類2013(食事)早見表をご確認ください。

※他分類の対応に関して：嚥下食ピラミッド、えん下困難者用食品許可基準、UDF区分は「学会分類2013(食事)早見表」を、スマイルケア食は「スマイルケア食の選び方」を参考に当社が作成したものです。

※学会分類2013に対応する内容のみ記載しておりますので、嚥下食ピラミッド[L5普通食]、スマイルケア食「目」、「青マーク」の記載は割愛しております。

※学会分類2013に対応していない場合は「-」を記載しています。